

十月社会主義革命108周年記念集会



見ろ、敗残兵の鉄兜だ！ だが
ぼくらが みじめに敗北したのは、
こいつが頭から打ち落されたときではない。
おとなしくぼくらが、こいつをかぶったときだ。

ベルトルト・ブレヒト『戦争案内』より

日時＝11月8日(土) 13時半開始(13時開場)

会場＝東京・文京区民センター2A会議室

<内容>

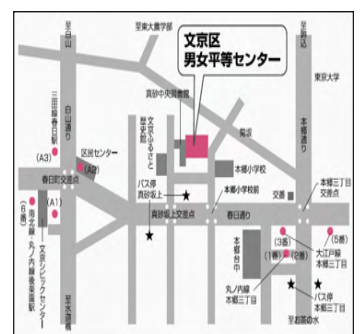
●主催者挨拶「大軍拡、参政党台頭のなかの運動課題とは何か」

●映画上映＝『戦争案内』(高岩仁監督 2006年・70分)

●海外からの連帯メッセージの紹介

●主催＝<活動家集団 思想運動>/本郷文化フォーラム・ワーカーズスクール

☎080-9816-3450 URL=<http://www.hows.jp.org/>



いま、世界中で戦争の惨禍が広がり、二度の世界大戦の教訓からつくられたはずの国際法や国連憲章があっさりと踏みにじられ、虐殺と占領、略奪がほしいまになされています。日本でも、わたしたちの生活のための保障がこれでもかとそぎ落とされる一方で、莫大な軍事予算が組まれ、大軍拡が急速度でおしすすめられているのです。

現在のイスラエルの暴虐に対するパレスチナの人びとの闘いは、わたしたちに知らせています。第二次世界大戦の終結で「戦争の時代」は終わったのではなくその“母胎”は残され、この西アジア（中東）の地で蠢動をつづけてきた。今その野蛮な本質をいっそうさらけ出している。つまり侵略戦争の時代はずっと続いているのだと。

イスラエルを侵略の橋頭保におしたてる米国、それを支持する「西側諸国」と世界中の投機家という、この戦争に利益を得る資本家階級の連合、搾取と収奪によってしか「成長」できない腐朽せる資本主義＝帝国主義こそが、この戦争の“母胎”であり戦争放火者に他なりません。かれらは帝国主義戦争とそのための策動を、当然パレスチナのみならずこの80年間、文字通り世界中で展開してきました。現在はその的を中国・朝鮮・ロシアに絞りつつ、その体制転覆すら目論んでいるのです。

そして日本こそは、「西側」の一員としてこの支配体制への支持・支援・参画に自らの活路を見出してきました。現在イスラエルが行なっている暴虐は、かつての日本軍が朝鮮や中国などに対して行なった侵略と重なる姿であり、日本帝国主義の“母胎”も敗戦後に生き延び、徐々に復活の機会をうかがってきました。独占資本による労働者搾取体制の確立・強化と日米軍事同盟を主軸とした日本の戦争国家化を車の両輪として。

そして今、沖縄・琉球弧の軍事要塞化、日本全体の侵略ミサイル基地化を強行し、アジア版NATO創設へと舵を切り、朝鮮や中国への再侵略戦争準備という非常に危険な段階に突入しているのです。

先の自民党総裁選では、旧安倍派・タカ派の急先鋒である高市早苗氏が選出されました。衆参両院で与党過半数割れという窮状をより反動的に突破しようと、超保守・極右の歴史修正主義者・排外主義者を前面におしたてたのです。「初の女性総裁」という目新しさを宣伝材料のひとつにしていますが、男性多数の党主要ポストのジェンダー割合を微動させることにはなるにしても、重要なのは、高市氏がどちらの階級のために働くか——労働者階級のためか、資本家階級のためか、です。彼女が後者のため、スパイ防止法案をはじめとした反動立法、いっそうの軍事大国化を強行しようとするのは火を見るよりも明らかです。

ソ連・東欧社会主義体制の倒壊から34年。社会主義社会が背負った多くの困難、倒壊に至る内的・外的要因、労働者階級の主体的な弱さや誤り、それらの全貌の究明は未だ道半ばです。わたしたちはその歴史を教訓として学び生かしながら、その困難を克服する論理と実践を追求していきたいと考えます。

レーニンの主唱したスローガン＝「帝国主義戦争を内乱へ」を実行し、革命を成し遂げたロシアの労働者・農民・兵士の闘い。その革命的飛躍の基礎には、それまで長年月にわたり継続されたストライキ闘争と、平和とパンと土地を求める反戦・平和の闘いの蓄積がありました。帝国主義戦争を止めようとするわたしたちは今こそ、この歴史に学びたいと考えます。ロシア十月社会主義革命108年記念集会にぜひご参加ください！



平和運動を続けた阿波根昌鴻さん。伊江島の反戦資料館の前

〈高岩仁さんプロフィール〉 ベルトルト・ブレヒトを敬愛し、「誰が戦争を必要としているか」を独自の視点から追求。『教えられなかった戦争』シリーズのマレー編、フィリピン編、沖縄編、第二の侵略編、中国編など多くの作品を制作。『戦争案内』はこのシリーズの総集編にあたる。

●主な映像内容

〈明治維新からアジア太平洋戦争敗戦まで〉

- ・明治維新・資本主義社会へ／欧米視察・侵略体制整備
- ・朝鮮半島への侵略と朝鮮農民戦争 20～30万の農民を虐殺
- ・日清戦争・勝利して巨額の賠償金と台湾を植民地化
- ・大地主、大資本家の天皇、世界一の富豪へ
- ・中国への侵略・日中戦争・中国旧満州獲得・2100万人を虐殺
- ・石原産業と2.26事件・アジア太平洋戦争で約3000万人が犠牲
- ・アジア各地で抗日・民族解放運動が拡大・日本敗戦

〈戦後の民族独立と新植民地化〉

- ・朝鮮民主主義人民共和国成立 中華人民共和国、革命に成功
- ・アジア各地で民族解放・独立闘争 旧植民地宗主国の再侵略
- ・勝利したベトナム、カンボジア、ラオスと開発独裁政権樹立
- ・アジア各地、沖縄などへの米軍基地設置

〈日本『第二の侵略』〉

- ・85年プラザ合意で円高承認 日本資本の怒涛の海外投資
- ・開発独裁政権が保証する公害垂れ流し、人権無視、組合弾圧
- ・開発・投資に反対するアジア民衆運動
- ・日本国憲法改悪策動・海外派兵